※NO.（大学記入欄）	

（記入例）

（申立日）令和 5 年 9 月 6 日

令和 5 年度 前 期／第 2 クォーター
全学共通授業科目　成績評価に対する申立書

教養教育院長　殿

所属学部：国際人間科学部
学籍番号：1234567H
氏　　名：神戸　太郎
電話番号：XXX−XXXX−XXXX

■科　　目　　名：〇〇B
■時間割コード：2U△△△
■担 当 教 員 名：◇◇ □□□（フルネームを記入）
■申立の内容及び理由
※当該授業科目の成績評価基準に照らして疑義があると考えるに至った理由や申し立ての内容を記入すること。

（記入例）
第Ⅰクォーター「〇〇B」の成績が「不可」であったことに対して疑義があり、申し立てを行います。
シラバス及び BEEF+では、成績評価方法は「平常点 30%、課題レポート 20%、最終試験 50%」、成績評価基準は「〇〇について正確に理解し、論理的に説明できるか」と示されていました。

私は授業に毎回出席し、グループワークの際は意欲的に議論に参加しました。
毎回の出席確認の小テストについては、先生の指示「〇〇の観点から記入すること」に基づいて、「・・・（出来るだけ詳しく）・・・」といったことを記入しました。
以上により、平常点は 8 割以上獲得できていると思います。

また、課題レポートは、授業で習った□□□と◎◎◎の考え方をもとに、「・・・（出来るだけ詳しく）・・・」といったことについて記載しました。授業の内容を踏まえて自分の考えを明確に記載したので、大きく減点されるような要素はなかったと思います。レポートの末尾には、指示どおり参考文献についても明記しました。

最終試験では、大問は3問あり、（1）（2）の一問一答については、試験後に教科書を読み返してチェックしたところ、8 割以上正解を書けていたと思います。また、（3）の論述問題については、授業で習った△△△を基にして、◎◎◎の考え方と自分の意見を論理的にまとめました。これにより、合格点を取れていると思います。

上記の内容により、私は成績について疑義がありますので、「不可」であった理由を教えてください。よろしくお願いします。

★以下、申立書提出前に必ず確認すること。
成績評価の照会や成績評価の変更を申請する制度ではありません。
シラバスや BEEF+、授業中等で示された成績評価基準に照らして、成績評価に疑義を申し立てる具体的な内容及び理由がある場合にのみ、その内容を詳しく記入してください。

【受理できない例】
・個人的な事情
（例）どうしても単位が必要なので、合格にしていただけないでしょうか。
→成績評価の変更を申請する制度ではありません。
（例）卒業がかかっているので、救済措置をお願いします。
→卒業や進級の可否も含め、個人的な事情に応じて成績を変えることはしません。
・具体的でない場合
（例）レポートを提出し、試験も受験し、自分なりに頑張りました。なぜ不合格なのですか。
→なぜ合格だと考えられるのかが不明。成績評価基準に対してどの程度できたかを具体的に書くこと。
（例）授業には何度か欠席しましたが、単位は取れていると思います。
→具体的に何回欠席したのか、その上でなぜ単位が取れていると思うのか具体的に書くこと。
・他の履修者の成績
（例）私よりもテストができなかったと言っている友人が合格で、なぜ私は不合格なのですか。
→あくまでも自分の取り組みについてのみ言及すること。
・授業／試験内容に対する個人的な意見
（例）成績は合格でしたが、授業のやり方に不満があります。
→意見がある場合は、授業振り返りアンケートを利用すること。

※虚偽の内容は書かないこと。事実の誤認がないか、自分の課題提出状況や出席状況、教員からの指示内容を再確認すること。
※誰が読んでも分かるように書くこと。担当教員だけでなく、全学共通授業科目を所掌する関係者が確認するため、「担当教員であれば、これで通じる」ではなく、誰が読んでも内容が理解できるように記入すること。